

(シラバス No.5) (基幹科目)

科目名	教育のユニバーサルデザイン特論	単位数	2単位	科目コード	S3
	Advanced Seminar on Universal Design in Education	形態	選択		
		担当教員	阿部 利彦	教職	小中高
【授業概要】					
<p>教育のユニバーサルデザインとは子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育のデザインである。そして、さまざまな学びや行動につまずきを持つ子が、通常学級の日常において学習や活動に興味を持ち、新たに視野を広げられるような工夫である。通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをも支える授業づくり、学級づくりの概念について検討するとともに、ユニバーサルデザインに関わる教育の動向に関して考察する。</p>					
【授業の到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 教育のユニバーサルデザイン化について理解する 2 インクルーシブ教育における「教育のUD化」の意義について理解する 3 ユニバーサルデザインに関わる教育の動向を理解する 					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. ユニバーサルデザインとは何か 2. 障害者基本法からみたユニバーサルデザイン 3. 「合理的配慮、基礎的環境整備」とユニバーサルデザイン 4. インクルーシブ教育からみたユニバーサルデザイン 5. 学びのユニバーサルデザイン (UDL) 6. マルチ知能と授業のユニバーサルデザイン 7. 神経心理学と授業のユニバーサルデザイン 8. 学習者に対する「教えにくさ」の背景を学ぶ 9. 教育のユニバーサルデザインとは 10. 授業のユニバーサルデザイン～視覚化、焦点化、共有化について 11. 授業のユニバーサルデザイン～5つのテクニック 12. 教室環境のユニバーサルデザインとは 13. 人的環境のユニバーサルデザインとは 14. 授業科目で育てるソーシャルスキル 15. 共感を高める学級づくりとは何か 					
【評価方法】					
「授業内で課すレポート評価」(50%)、「科目修得試験」(50%)の割合で総合して評価する。					
【教科書】					
阿部利彦『通常学級のユニバーサルデザイン・プランZERO』(東洋館、2014)					
柘植雅義『ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と学級づくり』(金子書房、2014)					
【参考図書】					
授業のユニバーサルデザイン研究会編『授業のユニバーサルデザインVOL. 1』(東洋館出版、2010)					
日本授業UD学会編『授業のユニバーサルデザインVOL. 8』(東洋館出版、2016)					